



TITLE:

質疑應答

AUTHOR(S):

---

CITATION:

質疑應答. 地球 1931, 16(3): 237-238

ISSUE DATE:

1931-09-01

URL:

<http://hdl.handle.net/2433/183941>

RIGHT:

以内に蒸溜を必要とするから、一時に人の手を必要とする、但し右の一キロ瓦は邦貨千五百圓内外の相場なるが、それではとても生産費を補ふに足らず、この相場は一九三〇年夏以後二期乃至二期五分の下落によるもので、目下仕向地の銀行倉庫にストックとなり居るものが多いから、目先き相場は高くならぬといふことである。

## 質疑應答

問。蘭領モザンビーク

答。アフリカ東岸のモザンビークは熱帯東岸に位し平地が多いから、將來の開墾が豫想される、現に農産物は一九二八年度に一千八百五十萬圓近くを輸出した、砂糖、玉蜀黍、コブラ、サイザル、棉花、烟草、胡椒、マンゲル樹皮、レモン夏蜜柑、メロン類であつた、沿岸に水産も多く、捕鯨業も盛である、猶又礦物資源も多く、金、銅、鉛、錫、石炭がある、歴史家の報告によれば、紀元前一千五百年頃既にフェニヤ人によつて貴金屬の採掘が行はれ十六世紀には土人の手で金銀が採掘されてゐた、原始生活の域を脱しない土人の中に家具、裝飾器、武器、鐵器をつくる技術がある、殊に金絲細工は有名でポルトガル人渡來以前からやつてゐた、従つてこの土人は未開ではない、教育によつてその家内工業は進歩する見込が多い。交通上サンペデ川が唯一の幹線で定期汽船が

通つてゐる。リンボボ川も小汽船が通る、この川に灌漑工事が實現したら非常に發展するであらう。

鐵道も亦各海港から内陸に通じ經濟的發展に資してゐる、日本との貿易は最近に始まつたけれども年々増進の勢をしめし有望である、一九二九年には日本から輸出額前年の二〇二、七五二エスクードから三二九、二七七エスクードに増加し、木綿類、絹物、人絹、襪、米、竹細工、陶磁器、金屬製品、鈕、玩具、服物、筵類等であるが、同地よりの輸入は礦物類一四〇エスクードに過ぎない。アフリカの各地と日本商品との關連は近頃段々と密接になつてきた、我等はアフリカを遠い無關係の國と考へてはならぬのである。

問。アフリカ、ニジェリヤ事情

答。英領地の中では屈指の大國である、其面積はカメルーン委任統治地を合せて三十七萬三千平方哩を越え、人口は凡そ千九百萬、アフリカ第一である、其東と西と北とは佛領西部アフリカである、南はギニー海に面し、雨量が多い、北部に上るにつれて減退し遂にサハラとなる。

之を行政上二十四州に分れ、各州にレジデントがある、ニジェリヤ總督はラゴスに居る、其英國の政治は間接統治で土人の中に文化の高いものがある、回教徒のエミールといふものが萬般の政治をやつてゐるのである。

熱帯森林地であつて、太陽の光線の強烈なこと、赤外線豊富なこととは他に類がない、海岸は多雨で五月から九月まで

が雨期、十一月から三月までは乾期である、北方の沙漠地は五ヶ月余く雨がでない。

雨の多い海岸地にオイルバームが茂生し、北緯六度から北は雨がやみ減じてコ、ヤシの茂る地域帯になり、更らに北方年雨量五十時の處は棉花栽培地になる。

西阿は昔は白人の墓地といはれた程で、いまでも歐洲人の小供は生活が出来ない、マラリヤ、赤痢、ペスト、黄熱、黒水病等があるからである、しかし近年になつて其病源もわかり熱帯醫學が進んだから、白人の活動には差支へないやうになつた、土人の間に性病が蔓延してゐるのは何れの未開地も同様である。

土人は之を三大別する、第一はネグロで、セネガル河口からナイジャール河口の沿岸にすむ、米大陸や、西印度に供給された奴隸の故郷である。

第二はネグロイドでハウサ Hausas と、ふのが三百萬もゐる、回教徒で活潑で企業心にとむ、農業に適し建築に秀で商人としても有力である。

第三はセミチック族でフルリ Fulani と、ふのが代表であ

る、其數二百萬、純粹なものは長い直毛を有し、瘡型であつて、ネグロではない、地中海岸民族の南下したものであらう、牧牛に長じ、回教徒であつた百年以前オスマン・イボン・フォジオなるものがハウサ族を征服してソコトに一國をたてた位である。いまでもソコトに其後裔がエミールとして統治してゐる。

北部ニジェリヤには極めて原始的な野蠻人がゐる。バウチ州にすみ食人の弊習をもつものさへゐる、ナイジャール河の西及南の森林中にはネグロの一族たるヨルバがゐる、イバダンの町は二十五萬の人口を有し多くはキリスト教徒である、河の東にはイボス族がゐるがこれは自然林の中にある未開人である。

主要産業は農業と林業であるがバームオイル、落花生、カカオ、棉花の産が多い、棉花は多雨の地であるから米棉は不適當であるから、イバダンの試験所で一新種をつくつたといふことである、錫はバウチ高原に産する、牧畜も亦北部に多い、この國の開發は鐵道の延長によつて將來が囑望されてゐる。